

♥ 8時間働けばふつうに暮らせる社会を！♥

全労連・全国一般 広島合同労組 NEWS

452号 2023年7月28日発行

〒732-0052 広島市東区光町2-9-24-303 TEL082-568-5835 FAX082-568-5845

kyodo-support.com/rouso/index.html E-mail: hgodou@ivy.ocn.ne.jp

= 第53回 広島合同労組定期大会 =

なかまを増やし、団結の力でさらなる飛躍を



▲山岸憲幸新執行委員長の音頭で「団結ガンバロー！！」

広島合同労組第53回定期大会は、7月23日広島ロードビルで開催され、代議員ら27名(来賓含、オンライン1名)が参加。23年間委員長を務めた門田勇人氏が退任し、新たに山岸憲幸氏が執行委員長となり、新たなスタートを切りました。

門田勇人執行委員長 挨拶

昨年広島精研工業菅さんは、最高裁が会社側上告を棄却し、勝利が確定しました。特に「降格について使用者に立証責任があるという判決は、おそらく全国で初めてであり」画期的なものでした。菅さんがあきらめず踏ん張ったこと、それを家族や職場の仲間、多くの組合のみなさんが傍聴で支えた結果です。

国が作った指定管理者という矛盾だらけの制度の中で、健全経営をし、地元からも支持をされていた「県民の浜蒲刈」が、呉市という行政につぶされ、32人の従業員が路頭に迷うことになりました。合同労組は、呉地区労連と共に、呉市への要請、署名行動、呉市庁舎まえでの宣伝など行いました。署名は地元蒲刈町の住民過半数、全国からを含めると3500筆を超えました。結果は残念でしたが、従業員のみなさんがあきらめずさいごまで闘ったことは、皆の大きな財産になりました。

「生活の厳しさ」「息苦しさ」「閉塞感」にモヤモヤしていると思います。それを打開する手立ては、あきらめないこと、考えること、そしてそのためにも共同の力、団結の力が大切です。そうすれば道は拓けます。その先頭に合同労組組合員の一人ひとりが立っていただくこと訴えます。

全労連・全国一般 東中貢中央執行委員長 挨拶(オンライン)

「うどんすき」で有名な東京の美々卯争議は、コロナ禍の2020年5月一方的に、6店舗を廃業し、全員解雇された事件ですが、今年5月に職場復帰は出来ませんでした。裁判に訴えた7人全員に対して未払い残業代を含めた解決金を支払わせ、勝利和解しました。



アメリカにあるダウケミカルグループと闘っている愛知のアクリル争議は、今年2月名古屋地裁で「不当判決」がだされ、現在、名古屋高裁で闘っています。大きな山場を迎え、和解も含めた争議解決に向けて、都労委や裁判所での闘い、アメリカ領事館や親会社であるダウ・ケミカルの全国の代理店に要請行動を行っています。名古屋高裁への署名や支える会へのご加入などの支援をよろしくお願いします。

大企業の内部留保は10年間で186兆円増え、513兆円まで膨れ上がっています。大企業の内部留保への課税を強化し、中小企業支援政策や医療・社会保障の拡充、最低賃金全国一律1500円、消費税減税の実現を求めていきましょう。

広島県労連 神部泰 議長 挨拶

戦争の足音が聞こえてきます。政府は、国会で「軍需産業支援法」「軍事財源確保法」など戦争する国づくりへ向けた危険な動きが加速しています。「はだしのゲン」などの削除問題もこの流れの中にあります。こうした動きを許さないたたかいが求められています。戦前労働組合は戦争遂行の一翼を担わされていきました。その痛苦の反省に立って、戦後の労働組合は、「教え子を再び戦場に送らない」(教職員)「二度と召集令状は配らない」(自治体職員)「ふたたび白衣を戦場の血で汚さない」(医療労働者)「平和こそ最大の福祉」(福祉労働者)「二度と兵器も兵士も運ばない」(JR労働者)などのスローガンを掲げ、平和の課題を最も重視してきました。戦前と現在の労働運動の歴史と労働者の今をみたと、あまりにも重なる部分が多いことに気づきます。「新しい戦前」にさせないために、平和への願いと暮らしの願いを一つに合流させての国民的運動をすすめるためにも、労働組合の出番ではないでしょうか。



8人が討論に参加

- 広島精研工業 菅吉一さん 裁判に勝って、課長に復帰した。これまでの支援に感謝する。現在は、会社との関係は良好である。
- 生協ひろしまパート支部 田頭奈美江さん 労働組合に皆が参加する苦勞を感じる。LINE、FAXでのニュースを活用し、活動を組合に伝える工夫をしている。
- 生協ひろしま労組 西野慶兼さん 23年ぶりに2000円ベースアップを勝ちとった。組織拡大がんばる。
- 生協ひろしま福祉支部 齊藤美加さん みんながいくら頑張っても事業所は黒字にならず賃金は上がらない。国の制度を抜本的に変えないといけない。事業所周りをはじめみんなのおもいを聞きたい。
- 宮本塗装支部 立川等さん 新築部門と回収部門。エキサイティングな仕事で、業績アップ賃金アップ。
- トキ支部 脇田由美子さん 印刷業界は電子化が進む中で厳しい。みなで踏ん張ってがんばる。
- 個人 首藤隆史さん 船長、船員など女性が進出している。会社は増収だが、燃料価格高騰で減益。
- 個人 成田紫乃さん 県民の浜で働いていた。みなさんの支援には感謝したい。呉市のやりかたはあまりにもひどかった。指定管理の選定議事録を請求するとほぼ黒塗りででてきたのはビックリ。

大会は、22年度総括、会計、23年度方針、予算が提案され、満場一致で採択。またスト権投票も全会一致で承認され、新執行部(委員長、副委員長、書記長、会計監査)が全員新任されました。

門田勇人委員長に変わって、新たに山岸憲幸さんが執行委員長に選任され、挨拶では「みなさん一人ひとりのおもいを聞き、がんばっていききたい」と決意を表明しました。



▲山岸委員長(右から4人目)ら執行部と議長の菅原さん(右)